



◆生育状況について

4月の降雨と高温により生育は当初の予想より前進傾向となっております。今後も高い気温が予想されますので、管理作業等遅れないように行ってください。

1. JA管内 ナガノパープル生育

| | 発芽 | 開花 | 満開 |
|------|------|------|------|
| 令和6年 | 4/17 | | |
| 令和5年 | 4/11 | 5/31 | 6/9 |
| 令和4年 | 4/20 | 6/2 | 6/10 |

2. JA管内 シャインマスカット生育

| | 発芽 | 開花 | 満開 |
|------|------|-----|------|
| 令和6年 | | | |
| 令和5年 | 4/16 | 6/6 | 6/12 |
| 令和4年 | 4/24 | 6/7 | 6/13 |

◆当面する重点作業・技術

- 春の強風等で枝が反転した園地は、早急に誘引配枝のやり直しを行う。
- 気象情報に注意を払い、凍霜害対策に万全を期する。防霜ファンの電源を確認する。
- 凍害及びクラウンゴールの被害を受けている可能性があるため、粗皮はぎ時に主幹に裂傷などがないか確認する。また発芽以降自園の状況をよく観察し、発芽がしない・遅れている場合はかん水を行う。
- 芽欠き作業を行い、新梢の勢力伸長を揃える。

◆第3回薬剤散布について

- 散布時期：展葉数で2～3枚目が10円玉の大きさになった頃 散布日 月 日
生育の状況を観察し適期に散布する。(自根樹は生育が早いため、散布時期に注意する。)
- 調合量：水1000ℓ当り ※混用順に記載。

| 農薬名 | 使用量 | 対象病害虫 | 収穫前 |
|----------------|------|---------------|-----|
| 展着剤 | 10ml | — | — |
| キノンドー顆粒水和剤※1 | 100g | 黒とう病 | 45日 |
| (Ⓜダイアジノン水和剤34) | 100g | カイガラムシ類・カメムシ類 | 30日 |

- 散布量：10a当り＝250ℓ以上
- 留意事項
 - ①シャインマスカットやクイーんルージュ®・欧州系など黒とう病に弱い品種は重要な防除となるため、タイミングを合わせて必ず散布を行う。
なお、苗木であっても主幹・主枝に被害が出ないように散布を行う。
 - ②カイガラムシ類・カメムシ類の発生が心配される場合は、Ⓜダイアジノン水和剤34を加用散布する。
カイガラムシ類対策として、散布の際は、主幹・主枝、特に芽座にしっかりと掛ける。
 - ③キノンドー顆粒水和剤に代えてICボルドー66Dの50倍(水1000ℓ当り2kg)を使用してもよい。

◆カイガラムシ対策の薬剤防除について

1. 塗布時期：5月上旬まで 塗布日 月 日
2. 調 合 量：1樹当たり水40ml 当り

| 農薬名 | 使用量 | 対象病害虫 | 収穫前 |
|------------|-----|---------|---------|
| アルバリン顆粒水溶剤 | 40g | カイガラムシ類 | 幼果期・30日 |

3. 使用上の留意事項

- ①降雨により、薬剤が流れ落ちてしまうため、塗布してから2日位は天気の良い時に実施する。
- ②1樹当たり水40mlに薬剤40gをよく溶かし主幹部を縦50cm以上、環状に粗皮削りし、当日～翌日にハケで塗布する。
- ③塗布後48時間は降雨にあわないよう配慮する。
- ④使用回数が年1回となっているので、クビアカスカシバの防除（6月上旬に樹幹塗布）とどちらかでの使用となる。



4. 実施方法

- ①当日または前日に粗皮を取り除く。（時間が経つと浸透しにくい）粗皮は出来るだけ取り除いた方が薬液が浸透する。ただし、削りすぎて樹液が出てくると薬液が落ちてしまうので注意。
- ③ハケを使用して、溶かした薬液を押しつけるように、1樹当りの薬剤をしっかりと塗る。
- ④使用回数は年1回の為、塗り直しは出来ない。乾いてから塗りなおしても効果は少ない。

◆管理講習会（種なし品種の芽かき作業・カイガラムシ防除等）開催について

下記日程により、講習会（種なし品種の芽かき作業・カイガラムシ防除等）を実施致しますので、ご都合のよい会場にご参加下さい。

| 開催日 | 曜 | 集合時間 | 開催場所 | 担当 |
|-------------|-------------|---------|---|-------|
| 4月30日 | 火 | 午前10:00 | 真島 小林 芳春様園 ★ | 根津 |
| 5月1日 | 水 | 午前 9:30 | 石川 南澤ひろ江様園 | 寺澤・徳武 |
| | | | 東部流通センター（現地へ移動して開催します）★ また、駐車はセンターの南側に整然とお願いします。 | 外谷 |
| | | | 大室 神戸直日様園 | 伊藤 |
| | | 午前10:00 | 今井 千野しげ子様園 | 松橋 |
| | | | 綿内 安藤周三様園 | 松澤 |
| | | 午前10:30 | 塩崎 宮寄正一様園 | 寺澤・徳武 |
| | | 午前11:00 | 綿内 昨年と同じ会場 宮沢様園 | 松澤 |
| 東条 中村忠勝様園 ★ | 伊藤 | | | |
| 午後 1:30 | 保科 保科薬調集合 ★ | 松澤 | | |

※★印会場では、発生増加により、果房被害が増大している、カイガラムシ対策の薬剤防除の実演も実施致します。

◆種枝の誘引・園内の清掃について

長・中梢仕立てでは芽が膨らんでから誘引を行うと芽が欠けやすい。終了していない園では、早急に仕上げておく。もう一度園内を見回り点検を行う。

◆芽かき作業 <<発芽や樹勢に応じて行い、新梢の勢力伸長を揃える

〔種あり巨峰〕

第1回目

1. 展葉初期に不定芽と種枝基部の2芽をかき取る。
2. 樹勢の弱い樹は早目から行う。

第2回目

1. 副芽や極端に強い新梢をかき取り、棚の明るさとバランスを保持する。
2. 負け枝を作りやすい部位（主枝分岐部・側枝種枝の基部）は早めに処理する。
3. 5～6枚期以前に強い新梢を除去することにより、基部に近いところまで新梢を揃えることができる。
4. 花振り回避のため、開花前の芽かきは極力弱めとする。（強樹勢）
⇒但し、開花中に棚が暗くなっても困る。
5. 樹勢が強く芽数が多く残っている場合、不要な結果母枝を棚下へ下げて棚の明るさを確保する。

〔種なしぶどう〕（短梢剪定）

短梢部分と長梢部分（主枝延長枝）は、芽かきの方針が異なるので注意

1. 主枝延長枝の芽かき

- ①副芽は早めにかき取る（短梢部分も）
- ②長梢部分から発生した副芽は新梢誘引時にハサミで切る。※手で欠き取らないように！



副芽が大きく伸長している場合は、基部をハサミで切る。
手で欠き取ると、残った本芽にまで傷が及び、誘引時に折れやすくなる。

2. 短梢部分の誘引と芽かき（芽かきは誘引後に行っても良い）

- ①2芽剪定をした人は展葉2枚までに先端側の芽をかく。
- ②30cm程伸び（展葉4～5枚頃）、花穂の素質がわかり次第、必要に応じて芽かきをする。
短梢部分は新梢が伸びやすいので、あせって芽かきをしなくても良い。
- ③原則として、芽座の基部側の新梢を残し、1芽座に1新梢とする。

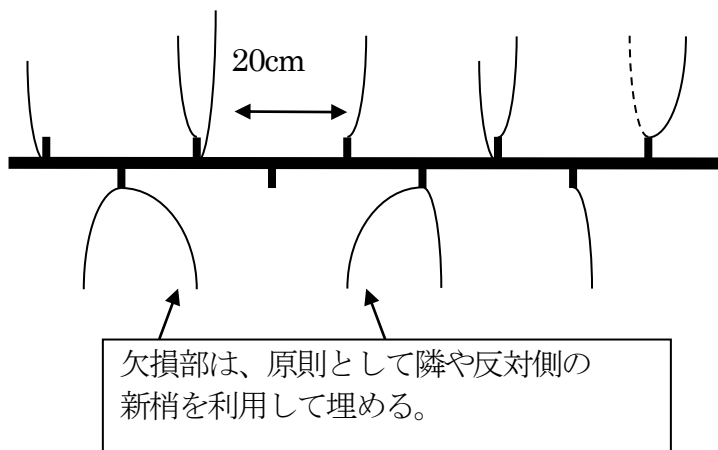


図2 欠損部の補充方法

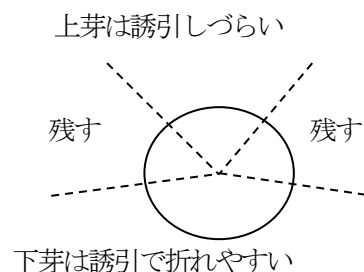


図1 残す芽の位置

最終的に片側20cmに1本程度新梢が欲しい。特にナガノパープルは誘引時に折れやすいので、芽かき時に目標本数より多く残しておく。

- ④基部側の新梢の伸びが悪い時や、判断時期が遅れた時は、やむを得ないので先端側の強い新梢を残す（短梢せん定の維持が困難になりやすいが、生産量を優先させる）。
- ⑤新梢は、目標本数の2割多く残す。（最終目標本数：片側20cmに1本）
特に、誘引時に折れそうな位置にある新梢の付近には多めに残す。
- ⑥欠損部がある場合は、2芽残す。反対側の新梢の状況も確認しながら誘引準備を行う。

◆部会再編について

令和3年度よりぶどう部会再編について、検討してまいりました。
先般開催された、本部、支部定期総会において、支部解散の上、ブロック制への変更が承認されました。併せて、役員体制も見直が図られました。

《栽培に関する営農技術員への問合せ》

徳武（篠ノ井西部）：080-1202-0260 / 外谷（篠ノ井東部）：080-8048-6602

※篠ノ井西部は、当面、寺澤・松坂・佐藤・外谷も対応致します。

佐藤（信更）：090-7179-9866 / 伊藤（松代・情報担当）：080-2239-6816

松橋（川中島）：090-4816-6297 / 根津（更北）080-1203-8576

松澤（若穂）080-1191-5166 / 寺澤（全域・情報編集）：080-1188-5229

吉澤（全域・情報監修）：090-2543-0365

栽培に関する電話対応は、担当地区関係なく対応できます。園地指導や地区組織関係のお問い合わせは、地区担当までお願い致します。

○果樹のアドバイザー（流通センター長兼務）松坂（篠ノ井西部）080-1188-4131

《栽培・販売に関する問合せ》各流通センター・共選所／営農販売部（本所）：292-0930

《資材に関する問合せ》各JAファーム・営農資材センター・経済部農業資材課：299-3311